

井東憲 ねとう、小説家、評論家。明治二十八年八月（二十七日東京生れ）（八九一）。本姓伊藤。筆名イトウ・ケン、キトウ・ケン、井東白刀子、伊井藤吉郎、伊藤富士春、伊藤白刃、崎風亭歸風、トイ生等。正則英語學校を経て、大正八年明治大学法科卒。日本プロレタリア作家同盟（略稱ナルパ）に加はる。新興中華研究所所長、内外特種通信社主宰など。

著書『地獄の出来事』（大正十一年二月、千日建文館）、『有馬武郎の藝術と生涯』（大正十五年八月、千日建文社）、『變態作家史』（大正十五年十一月、千日文藝資料研究会「變態十史・附録」）、『續プロ最近傑作選集』（合著・山崎今朝彌編、大正十五年十一月、千日解放社「解放群書」）、『文壇の漫談・思ひもよらぬ話』（合著・本間晴編、昭和五年六月、千日田中書房）、『黄金病患者』（伊井藤吉郎名、昭和九年六月、千日丸之内出版社）、『資金網物語』（昭和十年一月、千日白揚社）、『重役病患者』（昭和十年七月、千日健文社）、『資金網物語―彼等は何をいって今何を築いたか・專業家の巻』（伊井藤吉郎名、昭和十一年六月、千日さんもん書房）、『戦争は儲かるか―戦争と經濟の書』（昭和十二年八月、千日パンツレット文藝社）、長篇戯曲『流澤第一』（昭和十二年七月、千日共闘齋）、



カアンター著『禁慾と禁煙』（伊井藤吉郎名、編、昭和十四年九月、千日大東出版社「あかね叢書」）、『熱血兒石原廣一郎』（昭和十四年七月、千日東海出版社「財界人物評論全集」）、馮承鈞著『支那南洋交通史』（譯

昭和十五年一月、千日大東出版社「支那文化史大系」）、『支那風俗

- 綺談』(譯著、昭和十五年八月、千代大東出版社)、
『變り行く支那』(昭和十五年九月、千代大東出版社)、
『南洋の民族と文化』(昭和十六年十月、千代大東出版社)、『東亞文化叢書』(、胡雲翼著)、『支那文藝史』(譯、昭和十六年十一月、高山書院)、『高山叢書』(、
『衝く街』(昭和十八年七月、千代教材社)等。